

OKINAWA GENERAL CONSTRUCTORS ASSOCIATION

沖建協会報



令和7年

No.663

8
月号

今月号の主な内容

- ◆ 第3回役員会
- ◆ 建産連通常総会
- ◆ 建設DX基礎研修



目次

<NEWS>

第3回役員会	1
建産連が第43回通常総会	3
呉屋明副会長が国交大臣表彰を受賞	4
黒瀬政策統括官と矢作局長が表敬訪問	4
県産品奨励月間で建材関連要請団から要請	5
デュアルシステムで金秀建設の現場実習開始	5
現場見学会で南部工業高校の生徒を案内	6
美里工業高校への実技指導で講師派遣	6
新入社員研修を開催	7
女性部会がリコチャレ開催でPR	7
沖縄県土木施工管理技士会が通常総会	8
労働局や建災防ら4者が合同パトロール	9
建災防各分会と各労基署が合同パトロール	9
支部活動報告	11
中部支部 ボウリング大会で琉球開発が初優勝	
中部支部 ボランティア清掃に会員から60人が参加	
浦添・西原支部 那覇港内のサンゴ育成状況など視察	

<メッセージボード>

(一社)全国建設業協会統一様式「おそれ情報通知書」の作成	12
------------------------------	----

<建設雇用改善推進コーナー>

教えてください！我が社の働きやすい職場づくり	14
Message～後輩たちへ	15

<事務局から>

協会の動き	16
今後の日程	16

<会員の異動>

<お知らせ>

西日本建設業保証からのお知らせ	18
-----------------	----

〈表紙写真〉

【青年部会第16回フォトコンテスト
～島の魅力～優秀作品より】

〔人の部 特別賞〕

題 名：ナナメの視点
撮 影 者：知花 結
撮影場所：南風原町

県選出国会議員との意見交換会開催に向けて協力を呼び掛け

2025年度第3回役員会を開催



4つの議案を審議した

2025年度第3回役員会が7月8日、那覇市のザ・ナハテラスで開かれた。新規会員の加入申請や会員資格の承継、退会届について審議が行われ、いずれも原案通り承認した。

議事に先立ち、津波達也会長が「8月上旬に予定している県選出国会議員との意見交換会に向けて、意見・要望を聞かせてほしい」と協力を呼び掛けた。また、業界を取り巻く各種課題について「解決に向けてしっかりと話し合い、協会全体で対応していきたい」と述べた。

国会議員との意見交換会は、沖縄振興予算における公共事業関係予算の拡大・確保並びに県内企業への優先発注に向け、毎年実施している。沖縄振興予算の横ばいが続き、市町村関連事業の進捗や経年劣化したインフラ整備に遅れが生じ、災害対応にも懸念があるなど、公共事業の停滞による影響に津波会長は強い危機感を示した。意見交換では、那覇軍港跡地や牧港補給地区(キャンプ・キンザー)、普天間飛行場跡地再開発、浦添西海岸開発計画、鉄軌道整備などのプロジェクトを推進し、公共投資を呼び水とする経済活性化の必要性を訴える方針。その上で、各支部に対して地域の社



開会挨拶をする津波会長

会資本整備の充実を求める意見・要望を提出するよう呼び掛け、昨年度行われた意見交換会の内容も紹介した。

このうち那覇支部は、那覇空港周辺整備事業、シェルター機能を備えた複合施設整備、Jリーグ規格スタジアムの整備などを提起。浦添・西原支部は浦添西海岸開発事業の推進、中部支部は普天間飛行場周辺整備事業や東部海浜開発(潮乃森)事業(泡瀬人工島)の推進、北部支部は北部基幹病院の予算確保や鉄軌道の北伸などを要請していた。また、宮古支部は避難シェルター整備の事

業化推進と、宮古空港・下地島空港・平良港の「特定利用空港・港湾」指定、八重山支部は石垣空港滑走路の延長や石垣港(港湾)と石垣漁港・登野城漁港(漁港)の一元化を図る港湾計画の推進を求める声が上がったことを紹介。

さらに、制度や技術的課題についても「公契連モデル」最低制限価格上限値の撤廃並びに引き上げ、単価・歩掛の早期見直し、人材不足対策、PPP/PFI事業の適切な運営などに関する意見交換も行われたと報告した。

議事ではその他事項として、7月4日付で(公社)沖縄県工業連合会、沖縄県JIS協会、沖縄県商工会連合会、沖縄県商工会議所連合会など5団体から、県産品の優先使用に関する要請があったことも報告。地域産業の振興を目的とし、①公共・民間工事における県産建設資材の優先使用への配慮②協会が発注する消費関連商品の県産品優先使用徹底と傘下会員企業への啓発一が求められている。

また、女性部会は「夏のリコチャレ2025ミライをつくる建設女子のしごと体験ツアー」を8月1日に実施予定であることを報告した。対象は県内の女子中学生とその保護者で、那覇港新港ふ頭地区で進められている港湾工事(ケーソン製作など)を見学し、女性技術者による現場説明や仕事体験を行う。定員は15組30人。糸数幸恵部会長は「理工系への進学や就職を希望する女子学生の割合はまだまだ少ない。女子学生の進路選択の促進となるよう企画した」と述べた上で、「今回のツアーでは、実際に現場で活躍する女性技術者が、自身の進路選択の経緯や現在の仕事内容、仕事のやりがいなどを直接伝える機会となっている」と説明し、会員企業に参加者確保の協力を求めた。

このほか、「感染症と自然災害に強い社会」をテーマにニューレジリエンスフォーラム沖縄県大会が8月7日に開催予定であること、県産黒糖の購入による熱中症対策への協力を呼び掛けた。

最後に、上原進副会長が「業界の発展に向け、引き続き協力をお願いしたい」と述べ、会を締めくくった。



仕事体験ツアーの開催予定を伝える糸数部会長



閉会の挨拶をする上原副会長

○議事

1. 加入申請について(1件)
(株)新生実業(代表取締役・具志堅博)
2. 会員資格承継について(2件)
【那覇支部】
(株)南成建設(代表取締役・仲西正也)
【浦添・西原支部】
沖電開発(株)(代表取締役社長・屋宜誠)
3. 退会届について(1件)
【八重山支部】
(株)平田建設(代表取締役・平田当範)
4. 国会議員との意見交換会の開催について

○その他事項

1. 県産品の優先使用について(要請書)
2. 熱中症対策及び県産黒糖の利用促進並びに就労支援等について
3. 女性部会「夏のリコチャレ2025」仕事体験ツアーについて
4. ニューレジリエンスフォーラム沖縄県大会について(感染症と自然災害に強い社会を)

建産連が第43回通常総会を開催

〜〜〜〜 地域建設企業の安定的・持続的発展を目指す 〜〜〜〜



24年度事業報告や25年度事業計画を審議

(一社)沖縄県建設産業団体連合会(津波達也会長)は6月25日、那覇市の沖縄ハーバービューホテルで2025年度第43回通常総会を開催し、24年度の事業報告および決算、25年度の事業計画と予算を審議。いずれも原案通り承認した。また、会員構成団体の役員改選に伴う理事の交代があり、(一社)沖縄県磁気探査協会の会長に就任した仲宗根昌博氏が新たに理事に就いた。

冒頭、津波会長は「政府の骨太方針に『GW 2050 PROJECTS』が組み込まれる動きがある。那覇空港や那覇軍港、牧港補給地区(キャンプ・キンザー)、普天間飛行場などの開発が連動し、今後の県経済の方向性がより明確になることを期待している」と挨拶した。

24年度事業報告では、公共事業関係費の拡大確保や県内建設企業への優先発注を求める要請活動に加え、「建設産業合同企業説明会」や「おきなわ建設フェスタ」の開催状況などが報告された。会員の異動についても説明があり、24年7月22日付で沖縄県生コンクリート協同組合(山城正守理

事長)が新たに賛助会員として加入。沖縄左官業組合連合会(古謝春次会長)が組織運営上の都合により25年3月27日付で正会員を退会した。

25年度事業計画では、建産連の横断的な組織力を生かし、地域建設企業の安定的・持続的な発展を目指す方向性を確認。また、労働環境の改善、担い手確保・育成、利潤確保などの課題に対し、連携して取り組むとした。重点項目は、構造改善事業の推進、社会資本整備の充実、建設産業に関する調査・研究、組織の特性を生かした取り組み、県内経済団体としての取り組み一など9項目。

総会に先立って開かれた25年度第1回役員会では、8月に予定されている県選出国会議員との意見交換会について報告があり、公共事業関係費の拡充と県内企業への優先活用に向けた各団体からの意見・要望提出を呼び掛けた。

このほか、5月19日付で県や沖縄総合事務局など4機関から新規学卒求人確保に関する要請があったこと、6月6日に開催された「建設産業合同企業説明会2025」の報告も行われた。

呉屋明副会長が国交大臣表彰を受賞

呉屋明副会長が、2025年建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰を受賞した。7月10日に東京都の同省で行われた式典で表彰状が授与された。

表彰は、建設事業関係各分野で振興・発展に貢献し、地域での建設業界の発展にも寄与した個人や団体を顕彰するもの。呉屋副会長は㈱呉屋組の代表取締役社長として社業に尽力する一方、沖建協の活動にも長年精力的に取り組んできた。

協会では、2004年に理事に就任して以降、南部支部長、労務対策委員長などを歴任し、2020年からは副会長として建設業界の課題解決に取り組んでいる。労働環境の整備や人材育成、入札契約制度の改善、防災・減災活動の推進など、幅広い分野でリーダーシップを発揮してきた。特に若年層の建設業への入職促進では、東海工業専門学校との連携協定や高校生・教員への研修事業など、教育機関と連携した取り組みを主導している。

さらに、建設業における第三者賠償補償制度や工事補償制度の創設・拡充を地元損保会社と連携して進めることで、企業経営の安定と地域建設業



国交大臣表彰を受賞した呉屋副会長
界の支援に寄与した。加えて、建災防や建退共沖縄県支部、建設業企業年金基金などでも要職を歴任。業界の福祉・雇用の改善にも貢献してきた。

今回の受賞について呉屋副会長は、「協会活動や地域貢献を続けてきたことを評価していただき大変光栄。今後も業界の発展と後進の育成に力を注いでいきたい」と語った。

黒瀬政策統括官と矢作局長が沖建協を表敬訪問

7月1日付で内閣府沖縄政策担当の政策統括官に就任した黒瀬敏文氏と、沖縄振興局長に就任した矢作修己氏が7月5日、沖建協に津波達也会長を表敬訪問し、就任あいさつを行った。

津波会長は、「県内では観光業の回復により建築工事の需要が増加している一方で、土木分野への波及は限定的であり、資材価格の高騰や人手不足、公共工事予算の減額など複数の課題に直面している」と現状を説明した。

黒瀬政策統括官は「地域の声を丁寧に受け止め、沖縄振興にしっかりと取り組んでいきたい」と述べた。また、矢作局長は「関係機関と連携し、将来を見据えた持続的な発展に向けて尽力したい」と話した。交通渋滞やインフラ整備の遅れなど地域課題についても意見を交わし、津波会長は「建



(左から)矢作局長、黒瀬政策統括官、津波会長
設業は地域の安心・安全を守る重要な産業。長期的視点に基づく支援が必要」と強調した。

黒瀬政策統括官は、京都府総務部長やこども家庭庁長官官房審議官(成育局担当)などを歴任。矢作局長は内閣府北方対策本部審議官などを経て、現職に就いた。

県産品奨励月間で坂上団長から県産資材使用の要請

(公社)沖縄県工業連合会などで構成する県産品奨励月間実行委員会の建材関連要請団が7月4日、沖建協を訪れ、県産建設資材の優先使用を要請した。7月の「県産品奨励月間」に合わせた取り組みで、地域経済の活性化や雇用の拡大を図ることを目的としている。

要請団は、県工業連合会の八木実副会長(拓南製鐵(株)社長)と比嘉盛勝副会長(リウコン(株)社長)、坂上勉副会長(琉球YKK AP工業(株)会長)の3人を団長に、県内の関係企業8社も同行。県産品の活用を要請し、県産建材や建材保険分野の製品サービスなどをPRした。

坂上団長は「地場産業の振興には、県産品を率先して活用することが最も効果的であり、地域経済の循環や所得水準の向上にもつながる。今後も業界一丸となって生産技術や品質の向上に努める



津波会長に要請書を手渡す坂上団長

ので、官民を問わず県内企業への優先発注と県産資材の積極的な使用について、特段の配慮をお願いしたい」と述べ、津波達也会長に要請書を手渡した。対応した津波会長は「地場産品の活用は県経済の強化に直結する。協会としても県産資材の魅力を改めて周知し、会員企業に積極的に働きかけていきたい」と応じた。

デュアルシステムで金秀建設の現場実習が開始

美来工科高校では、土木工学科2年生の第2班を対象とするデュアルシステムの現場実習を6月から開始。会員企業の金秀建設(株)が生徒6人を受け入れ実務指導を行っている。6月10日には同社西原支店でオリエンテーションが行われ、比嘉達志工事部長と照屋洋三氏が会社の概要やICT施工、3Dプリンター技術の概要等を紹介した。

比嘉部長は「何でも遠慮なく質問してほしい」と生徒の積極的な発言を呼び掛けた。照屋氏は「人を育てる人を育てられる企業を目指している」と述べ、人材育成に対する自社の考えを伝えた。6月17日には豊見城市の「令和5年度小禄道路橋梁基礎工事」現場で実習を行い、生徒らは水準測量を体験した。現場で指導した監理技術者の城間喜浩氏は「測量は構造物の精度を左右し、品質に直結する重要な工程」などと説明。入社3年目の糸数清人氏が「構造物が形になったときに達成感がある」と土木の醍醐味を語り、生徒らにエールを送った。実習に参加した儀保和志さんは「厳しい中暑さの中でも丁寧に教えてもらった。現場実習は授業よ



オリエンテーションで意気込む生徒ら



現場で測量を体験

り難しく感じたが、今後も実習を通して学びを深めていきたい」と話した。

現場見学会に南部工業高校の生徒42人が参加

県内の工業高校生を対象とする2025年度現場見学会が、7月3日の南部工業高校を皮切りにスタートした。生徒らに建設業への理解を深めてもらうことなどを目的に沖建協が実施しているもので、会員企業が施工する現場に生徒らを案内する。見学会には南部工業高校の建築設備科1・2年生42人が参加。沖縄ピーシー(株)の工場(沖縄市)と、(株)仲本工業のホテル建設現場「(仮称)北谷町PRJ」(北谷町)の2カ所を見学した。

沖縄ピーシーの工場では、同社の柴田尚秀課長が会社概要やプレキャストコンクリート(PC)の特徴、製造方法などについて説明。鉄筋組立やコンクリート打設、仕上げなど一連の工程を見学し、なかでも3Dプリンターによる擁壁部材製造の導入事例説明には、多くの生徒が興味を示していた。

仲本工業の現場では、施行中のホテル最上階で躯体工事や安全対策、工程管理に関する説明を受けた。左官作業にも挑戦し、コテを使った仕上げを体験。生徒の中には若手社員に対して仕事のやりがいや入社の経緯、日々の業務について質問する様子も見られた。入社2年目の久場裕次郎氏は「今日見た内容は、全体の一部にすぎない。建設に



工場内で説明を受ける生徒ら



コテを使った左官作業を体験

は多くの分野が関わっているの、ぜひ幅広く興味を持って学びを深めてほしい」と述べた。

生徒からは「実際の作業や工程を見たことで印象が変わった」「将来の選択肢として建設業をより意識するようになった」などの声が聞かれた。

美里工業高校に講師を派遣し実技指導

美里工業高校建築科3年生を対象とする「2025年度校外講師による実技指導」が6月3日から始まった。建設業への入職促進などを目的に実施しているもので、学校から依頼を受けて沖建協が講師を派遣。型枠・鉄筋工事の一連の工程を実際の現場に近い環境で指導する。講師は、1級建築士・1級建築施工管理技士の玉城保氏が務める。

実習では、施工図面をもとに、丸ノコなどで成形したベニヤ板と桟木を組み合わせる型枠パネルを作成。鉄筋と組み合わせるモデルハウスづくりを行い、RC建築の基礎について学んだ。7月11日の実習には9人の生徒が臨み、型枠の内壁組み立て作業に取り組んだ。実習を終えた中村陽愛さんは「県内就職を考えており、将来、就職先でもこの経



玉城氏(左から2人目)の指導で釘打ちをする生徒ら
験を生かせたらと思う」と話した。

講師の玉城氏は「実際の作業を通して工事の流れを理解してほしい」と期待を寄せた。

会員企業対象の新入社員研修を開催

建設DX基礎研修で実務力磨く

会員企業の新入社員を対象にした「建設DXの基礎研修」を前期(6月16日～20日)と後期(7月7日～11日)に分けて実施。11社から39人が受講した。建設業に求められるICT活用のスキルを習得するもので、参加者は講義と実習を組み合わせたカリキュラムに取り組んだ。

開講にあたり、沖建協の呉屋秀裕係長が「研修で得た知識や経験を現場で活かし、より良い職場環境づくりにつなげてほしい」と激励した。

講師を務めた(株)ジーサクセスの北野雅史氏は、建設業におけるIT化・DXの基本的な考え方とクラウドの導入と運用、スマートデバイスを活用した写真・動画編集、ファイル管理、AI技術の実務応用など、現場で活用できる実践的内容を中心に解説。受講者は8チームに分かれ、クラウドを活用したデータ共有など、作業に取り組んだ。

最終日の7月11日には「私の将来の目標」をテーマに、2分間のプレゼンテーションを実施。習得したITスキルを駆使して、目標達成に向けた行動計画などの発表資料を作成した。

研修終了後、北野氏は「IT・AIは常に進化する。将来必要だと思った時は研修内容を振り返ってITを活用してほしい」と語った。受講生からは「AIは身近な存在だったが、より幅広い業務への応用が可能だと感じた」「AIを使うことで情報収集の効率や成果物の質が高まり、業務に活かす手



講師を務めた北野氏



情報共有の実習に取り組んだ



最終日のプレゼンテーションの様子

応えを得られた」などの声が上がった。

女性部会がリコチャレ開催で県内新聞社を表敬

女性部会(糸数幸恵部会長)は、8月1日に開催する「夏のリコチャレ2025ミライをつくる建設女子のしごと体験ツアー」のPRで県内新聞社を表敬。7月11日には糸数部会長と岸本ひとみ副部会長、後藤公子企画推進委員長らが沖縄建設新聞を訪れ、参加者募集を呼び掛けた。

対象は県内の女子中学生とその保護者で、定員は15組30人。女性技術者が那覇港新港ふ頭地区の



イベントのPRをする糸数部会長ら

港湾工事現場を案内して仕事内容などを紹介する。

関係機関との連携で現場技術力など向上に取り組む

沖縄県土木施工管理技士会第43回通常総会

沖縄県土木施工管理技士会(仲程俊郎会長)は6月26日、那覇市のダブルツリーbyヒルトン那覇首里城で第43回通常総会を開催。2024年度事業報告および決算報告、25年度の事業計画案と収支予算案を全会一致で承認した。

仲程会長は「現場では時間外労働の上限規制やDXの推進、生産性向上などが求められている。技士会としてもCPDSの活用や関係機関との連携を通じて、現場技術力や社会的地位の向上に努めていきたい」と述べた。25年度事業計画では、CPDS対象講習会開催のほか、県外視察研修、関係発注機関との技術懇談会、監理技術者専任制の周知徹底、会員の加入促進などに取り組む。

総会ではこのほか、全国土木施工管理技士会連合会表彰の伝達と優良土木工事の県知事表彰を受賞した監理技術者計34人に表彰状が授与された。総会終了後には「建設工事で役立つ自然災害の知識」をテーマとしたCPDS対象のDVDセミナーも開かれ、73人が参加。土砂災害や洪水、地震への備えと現場での対応について理解を深めた。

各表彰の受賞者は次の通り(敬称略)。

【(一社)全国土木施工管理技士会連合会表彰】

▽第4条第2号(国、地方公共団体及び公団等の発注機関から表彰された者)＝山内正森(金秀建設(株))、嘉数直(株鏡原組)、原田繁光(株佐平建設)、高良武嗣(ムトウ建設(株))

【沖縄県土木施工管理技士会表彰】

▽第4条(国・県知事より優良土木工事受賞の現場監理技術者)＝仲松庸吾(株ぐすく建設)、新垣潤(株第一三興)、上原聡(株大寛組)、東良平(同)、勢理客誠(同)、名嘉睦男(株共洋土建)、末吉孝司(株大城組)、友利喜雄(株太名嘉組)、平良富正(同)、宮里幸治(同)、福地洸太(國和建設(株))、玉城善康(同)、赤田雅勝(株田中工業)、比嘉聡(座波建設(株))、金城肇(有長浜建設)、比嘉義武(同)、新垣忍(アメリカンエンジニアリングコーポレーション)、糸



25年度事業計画などを審議した



全国連合会表彰の受賞者ら



監理技術者に表彰状授与

数昌太(有クリエイイト技研)、德里政也(有幸地建設)、津波古充也(琉球開発(株))、与那覇尚樹(株丸新建設)、天願保(株基土木)、平良雅史(國幸興發(株))、玉城翔太(株屋部土建)、前川仙雄(株翔南建設)、中塚裕也(株丸玄建設)、大里秀樹(有)大里建設、鈴木雄貴(琉穂建設(株))、金城弘紀(大同建設(株))、平良誠(大成土建(株))

労働局や建災防ら4者が合同パトロール

沖縄県建設業Safe-Work運動を主唱する沖縄労働局、沖縄総合事務局、県土木建築部、建設業労働災害防止協会沖縄県支部の4者は7月3日、那覇市の「沖縄都市モノレール新車両基地建設工事」現場で合同パトロールを実施した。7月1日から7日までの全国安全週間の一環。現場内の安全対策が適切に講じられているかを確認した。

パトロールでは、施工を担当する(株)國場組・(株)仲本工業・(株)沖電工JVの新垣禎彦所長(國場組)が工事概要を説明し、その後、参加者が現場を巡回して安全対策の実施状況を点検した。

パトロール終了後の講評で、建災防沖縄県支部の津波達也支部長は「組織として安全管理がしっかりしていても、猛暑の中で作業を続けると集中力が途切れ、ヒューマンエラーが発生しかねない。転落や墜落といった重大災害につながる恐れがあるため、万全を期して取り組んでほしい。県民の生活を支えるインフラだからこそ、無災害で完成してほしい」と話した。

講評を受けて、新垣所長は「無事故で完遂できるよう、今日の指摘を作業員全員に周知徹底し、



現場での安全対策を確認した



パトロールに参加した津波支部長(左)

全員が同じ意識を持って安全対策に取り組んでいきたい」と応じた。

建災防各分会と県内各労基署が合同でパトロール

建災防沖縄県支部の各分会は、県内各労働基準監督署と合同で安全パトロールを実施した。7月1日から7日までの全国安全週間の一環。2025年度のスローガン「多様な仲間と 築く安全 未来の職場」を指差唱和し、労働災害撲滅を誓うとともに、各現場での安全対策を確認した。

北部地区では6月20日、名護労働基準監督署(渋谷雄太署長)と建災防沖縄県支部北部分会(分会長・仲程俊郎支部長)が管内の安全パトロールを実施。名護市と本部町の計22現場を対象に安全対策の確認を行った。

名護市内の民間マンション建設現場では、外部足場からの落下物防止対策徹底、鉄筋先端部の

養生措置、躯体と足場間の渡り廊下設置、階段部や開口部の墜落防止措置、クレーン旋回範囲への立ち入り禁止などを指摘し、改善を求めた。

那覇、浦添・西原、南部地区では6月27日、那覇労働基準監督署(小池雅弘署長)と那覇分会(分会長・黒島一洋支部長)、浦添・西原分会(分会長・内間司支部長)、南部分会(分会長・徳元猛支部長)が合同パトロールを実施。建災防からは20人が参加した。参加者は6班に分かれ、那覇市や浦添市など5市3町で施工中の現場18カ所を巡回。安全設備や熱中症対策の実施状況などを確認した。

小池署長と徳元分会長らが参加した1班は、浦

添市内で(株)大成ホーム・(株)明成建設・大城産業(株)JVが施工する「宮城小学校屋内運動場改築工事(建築)」現場を視察。大成ホームの末吉正彦現場代理人から工事概要の説明を受け、危険箇所の表示や熱中症対策、整理整頓状況などを確認した。末吉氏は「作業員にこまめな休憩を指導し、熱中症を出さないように努めている」と説明。参加者らは「狭小現場ながら整理整頓が徹底され、協力業者も含めて安全意識を高めている現場だと感じた」と評価した。

八重山地区では、八重山労働基準監督署(津田憲志署長)と建災防沖縄県支部八重山分会(分会長・平良聡支部長)が7月1日にパトロールを行った。出発式で平良分会長は「小さな異常や違和感も見逃さず、全員で共有・改善し、災害ゼロを継続できるよう努めよう」と呼びかけた。

その後、参加者らが建築班と土木班に分かれ、石垣市内の建設現場を巡回し、安全対策が適切に講じられているか確認した。

中部地区では、沖縄労働基準監督署(南隆功署長)と建災防沖縄県支部中部分会(分会長・石川裕憲支部長)が7月2日、合同パトロールを実施し、管内の10現場を点検した。

出発式で南署長は「様々な視点で安全衛生管理状況と熱中症対策などを確認し、現状に合わせた指導をお願いしたい」と話した。石川分会長は「建設業は熱中症のリスクが一番高い」と話し、対策徹底を呼び掛けた。

引き続き、安全対策担当者ら22人は4班に分かれて各現場を巡回。熱中症対策や足場の設置状況、転落・墜落対策などを確認した。

宮古地区では、宮古労働基準監督署(瀬底正亮署長)と建災防沖縄県支部宮古分会(分会長・友利勝人支部長)が7月3日にパトロールを行った。出発式で瀬底署長は「熱中症の労働災害は建設業関係者が78%を占めているので、特に注意して安全指導を行ってほしい」と話した。

パトロールでは参加者らが3班に分かれ、管内で工事が進むホテルやマンションなど9現場を巡回した。



北部地区:安全管理に関して説明を受ける参加者ら



那覇、浦添、西原、南部地区:現場での取り組みを確認



八重山地区:指差唱和で労災撲滅誓う



中部地区:安全に対する管理体制を点検



宮古地区:指差唱和を行う安全指導者ら

■中部支部のボウリング大会で琉球開発が初優勝

中部支部(石川裕憲支部長)は6月20日、沖縄市のドラゴンボウルで「2025年度第12回ボウリング大会」を開催した。支部会員ら22チーム・88人が参加。団体戦では琉球開発(株)が初優勝を飾った。個人戦では、太田建設(株)の屋富祖信也氏が昨年に続き2連覇を達成した。

開会式で石川支部長は「支部会員の親睦を深める場なので、皆で盛り上げて楽しい大会にしてほしい」と呼び掛けた。

大会は、ストライクやスペアのたびに拍手や歓声



初優勝を果たした琉球開発のメンバーが上がるなど、終始和やかな雰囲気で行進。珍プレーには笑いも漏れ、参加者が交流を深めた。

■中部支部会員の60人がボランティア清掃

中部支部(石川裕憲支部長)は6月24日、沖縄市の中部建設会館前でボランティア清掃を実施した。社会貢献活動の一環として毎年行っているもので、支部会員の企業から約60人が参加。県道26号線沿道の除草やゴミの回収作業に汗を流した。石川支部長は「水分補給しながら安全に作業を進めてほしい」と呼びかけた。

清掃に参加した(株)丸内の宮国大樹さんは「大きな木の枝を剪定した。作業は思ったより大変だったが、地域のために今後も協力したい」と話した。上門工業(株)の比嘉真希さんは「皆で協力してやっ



清掃に取り組む参加者たのであつという間に終わった。来年以降も参加したい」と笑顔を見せた。

■浦添・西原支部が那覇港内のサンゴ育成状況など視察

浦添・西原支部(内間司支部長)は6月26日、那覇港浦添ふ頭の将来的な埋立整備と観光活用を見据え、防波堤内側に生息するサンゴなどの生育資源を確認する視察会を実施した。

内間支部長は「防波堤の内側では、サンゴなどの生態系が壊れることなく保たれている。今後、民港や軍港の整備が進む中で、新たな観光スポットとしての活用も考えられる。また、牧港補給地区(キャンプ・キンザー)返還後を見据えると、港内の静穏性を高める防波堤の整備は欠かせない。今の段階から現地を見て勉強し、建設業の立場から各方面に発信できれば」と語った。



視察に参加した支部会員ら視察には内間支部長や喜名景秀副支部長、支部会員ら約40人のほか、浦添商工会議所から約10人が参加した。参加者は水中観覧船に乗船し、約1時間をかけて防波堤内のサンゴ礁や熱帯魚などの生育状況を観察した。

各都道府県建設業協会
専務理事・事務局長 殿

一般社団法人全国建設業協会
専務理事 山崎 篤男
〔公印省略〕

「(一社)全国建設業協会統一様式 おそれ情報通知書」の作成について

平素は本会の活動に対しまして、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、令和6年6月に建設業における処遇改善、働き方改革、生産性向上などを柱とする建設業法の一部改正が行われ、建設業がその役割を将来にわたって果たし続けられるよう、担い手の確保に向けた対策強化のため、受注者から発注者への工期や請負代金額に影響を及ぼす事象に関する情報の通知等が、同年12月より施行されております。これを踏まえ本会では、資機材価格高騰の影響等が労務費へしわ寄せされることのない適正な価格転嫁を実現し、会員企業が健全でサステナブルな経営を続けていくため、建設業法第20条の2第2項に基づく建設工事の実施に大きな影響を及ぼす事象に関する情報（「おそれ情報」）と、当該事象の状況把握のために必要な情報を、発注者に円滑に通知できるよう「(一社)全国建設業協会統一様式 おそれ情報通知書」を作成いたしました。同様式は、天災その他自然的な事象や人為的な事象により生じる事象、また、土木・建築工事ごとに使用される主要資材をリスト化し、加えて当該事象の根拠となる情報源を記載しています。一方、生じる事象は多岐に渡ることから、リスト化した内容は工事ごとに柔軟に修正できるようにし、幅広い工種に対応いただけるものとしております。また、同様式は、請負契約における受注者の書類作成の負担軽減を図るために作成したものです。当会会員企業に関わらず広くご活用いただけるものとしておりますので、以下よりダウンロードしてお使いください。

【ダウンロード用URL】 https://www.zenken-net.or.jp/news/0611_2/



令和〇年〇月〇日

(発注者名) 御中

〇〇県〇〇市〇〇〇-〇〇〇
〇〇建設株式会社

通 知 書

本件工事については、以下の資機材や労務に関して、価格の高騰又は供給の不足若しくは遅延が生じ
るおそれがあるため、建設業法第20条の2第2項に基づき事前にお知らせします。
当該おそれが顕在化した際は、協議に応じていただきますようお願いいたします。

工事名： 工事

以 上

1. 価格の高騰、供給の不足・遅延の発生が想定されるリスク

☐ 地域における需要の増加（需給のひっ迫）	☐ 自然災害（地震、台風、豪雨、豪雪、疫病等）
☐ 供給メーカー工場の火災、設備故障等	☐ 経済状況の変化に伴う物価（労務費）上昇
☐ 紛争や関税制度等の変更による資機材の価格高騰・輸入遅延	
☐ その他（具体的な内容）	

注：上記1の記載は必須ではなく、原因が特定されている事象がある場合に記載してください。
必要に応じて記載内容を書き換えてください。

建設業法施行規則第13条の14第2項第1号関係

2. 主要な資機材の供給の不足若しくは遅延又は資機材の価格の高騰

※必要に応じて記載内容を書き換えてください。

高騰	不足	遅延	資機材名	高騰	不足	遅延	資機材名	高騰	不足	遅延	資機材名
☐	☐	☐	セメント	☐	☐	☐	生コン	☐	☐	☐	骨材・砕石
☐	☐	☐	鉄筋 (異形棒鋼)	☐	☐	☐	型枠	☐	☐	☐	H鋼、鋼矢板
☐	☐	☐	その他仮設資材	☐	☐	☐	覆工板	☐	☐	☐	基礎杭 (鋼管杭等)
☐	☐	☐	AS 合材	☐	☐	☐	砕石(RC、MC)	☐	☐	☐	燃料
☐	☐	☐	法面保護材	☐	☐	☐	プレキャスト製品 (鋼版、緑石、L型街灯、橋みブロック側溝等)				
☐	☐	☐	落石防止材 (ネット、ワイヤ等)	☐	☐	☐	排水管 (塩ビ管、鋼管等)	☐	☐	☐	マンホール
☐	☐	☐	じやかご (鋼材、砕石等)	☐	☐	☐	インター ロッキング	☐	☐	☐	グレーチング
☐	☐	☐	その他 ()								()

建設業法施行規則第13条の14第2項第2号関係

3. 特定の建設工事の種類における労務の供給の不足又は価格の高騰

※必要に応じて記載内容を書き換えてください。

高騰	不足	職種	高騰	不足	職種	高騰	不足	職種
☐	☐	とび工	☐	☐	型枠工	☐	☐	鉄筋工
☐	☐	ブロック工	☐	☐	造園工	☐	☐	法面工
☐	☐	トンネル職種 ()	☐	☐	橋梁職種 ()	☐	☐	特殊運転手
☐	☐	一般運転手	☐	☐	重機オペレーター	☐	☐	交通誘導員 ()
☐	☐	その他 ()	☐	☐	その他 ()	☐	☐	その他 ()

【参考】事象の状況の把握のため必要な情報の入手先

①添付資料

資料名： _____

②その他

・資機材・労務リスク情報（経済調査会）

<https://www.zai-keicho.or.jp/service/build/riskinfomaiton/>

・最新価格動向・市況（物価調査会）

<https://www.kensetu-bukka.or.jp/sikyou/>

2. 主要な資機材の供給の不足若しくは遅延又は資機材の価格の高騰（建設業法施行規則第13条の14第2項第1号関係）

※必要に応じて記載内容を書き換えてください。

高騰	不足	遅延	資機材名	高騰	不足	遅延	資機材名	高騰	不足	遅延	資機材名
☐	☐	☐	鉄筋 (異形棒鋼 等)	☐	☐	☐	H形鋼	☐	☐	☐	鋼板
☐	☐	☐	鉄スクラップ	☐	☐	☐	セメント	☐	☐	☐	骨材・砕石類 (砕板、木材 等)
☐	☐	☐	生コン	☐	☐	☐	コンクリートブロック (ALCパネル等)	☐	☐	☐	木材類 (合板、木材 等)
☐	☐	☐	型枠用合板	☐	☐	☐	基礎杭 (既設コンクリート 杭、鋼杭 等)	☐	☐	☐	石材、タイル
☐	☐	☐	アスファルト類 (AS 防水材、AS 材 等)	☐	☐	☐	鋼製建具類 (鋼製・鋼製移量建 具、ステンレス製建 具、ジャッキ等 等)	☐	☐	☐	非鋼製建具等 (アルミ製建具 等)
☐	☐	☐	ガラス類 (フロート板ガラス 等)	☐	☐	☐	合成樹脂系材類 (ビニル床タイル、 ビニル床シート、ビ ニル板木等 等)	☐	☐	☐	ボード類 (ぎっこうボード、 ロックワール吸音 板、びいかる板 等)
☐	☐	☐	鋼製金物類 (鉄鋼鋼材のネジ、 鋼製(SIS)手すり、軽 量鉄骨下地 等)	☐	☐	☐	非鋼製金物類 (鉄鋼アルミネ ール、アルミ製手すり、 アルミ管木等 等)	☐	☐	☐	仕上げユニット箱 (トイレブース、可 動間仕切り、パーテ ーション、窓拭 等)
☐	☐	☐	電気設備機器類 (照明器具、変圧器、 充電装置、映像・音 響装置 等)	☐	☐	☐	電気設備屋架類 (分電盤、制御盤、キ ャービタリ式配電 盤、通入機 等)	☐	☐	☐	電気設備鋼材類 (金具管、鋼管、ク ラップラック 等)
☐	☐	☐	電線・ケーブル類 (絶縁電線、電力・ 通信ケーブル 等)	☐	☐	☐	系材類 (P F 管、C D 管、硬 質ビニル管 等)	☐	☐	☐	機械設備機器類 (油圧機、空気調和機、ボ ンプ、タンク 等)
☐	☐	☐	機械設備鋼材 (鋼管、全類、ダク ト、ダンパー 等)	☐	☐	☐	機械設備管材料 (鋼管、強化ビニル管 等)	☐	☐	☐	保温類 (保溫材、保冷材、防 凍材 等)
☐	☐	☐	ダクト付属品 (制入口、折戻口 等)	☐	☐	☐	衛生器具類 (衛生陶器・器具、浴 室ユニット等 等)	☐	☐	☐	マンホール、 側渠 (排水用側渠 等)
☐	☐	☐	グレーチング	☐	☐	☐	インター ロッキング	☐	☐	☐	AS 合材
☐	☐	☐	H鋼、鋼矢板	☐	☐	☐	その他仮設資材	☐	☐	☐	燃料類
☐	☐	☐	エレベーター	☐	☐	☐	その他 ()				()

3. 特定の建設工事の種類における労務の供給の不足又は価格の高騰（建設業法施行規則第13条の14第2項第2号関係）

※必要に応じて記載内容を書き換えてください。

高騰	不足	職種	高騰	不足	職種	高騰	不足	職種
☐	☐	とび工	☐	☐	型枠工	☐	☐	鉄筋工
☐	☐	鉄骨工	☐	☐	建築ブロック工	☐	☐	左官工
☐	☐	塗装工	☐	☐	板金工	☐	☐	屋根ふき工
☐	☐	防水工	☐	☐	大工	☐	☐	内装工
☐	☐	タイル工	☐	☐	石工	☐	☐	サッシ工
☐	☐	ガラス工	☐	☐	建具工	☐	☐	はつり工
☐	☐	電工	☐	☐	配管工	☐	☐	ダクト工
☐	☐	保溫工	☐	☐	設備機械工	☐	☐	特殊運転手
☐	☐	一般運転手	☐	☐	重機オペレーター	☐	☐	交通誘導員 ()
☐	☐	その他 ()	☐	☐	その他 ()	☐	☐	その他 ()

【参考】事象の状況の把握のため必要な情報の入手先

①添付資料

資料名： _____

②その他

・資機材・労務リスク情報（経済調査会）

<https://www.zai-keicho.or.jp/service/build/riskinfomaiton/>

・最新価格動向・市況（物価調査会）

<https://www.kensetu-bukka.or.jp/sikyou/>

令和〇年〇月〇日

(発注者名) 御中

〇〇県〇〇市〇〇〇-〇〇〇
〇〇建設株式会社

通 知 書

本件工事については、以下の資機材や労務に関して、価格の高騰又は供給の不足若しくは遅延が生じ
るおそれがあるため、建設業法第20条の2第2項に基づき事前にお知らせします。
当該おそれが顕在化した際は、協議に応じていただきますようお願いいたします。

工事名： 工事

以 上

1. 価格の高騰、供給の不足・遅延の発生が想定されるリスク

☐ 地域における需要の増加（需給のひっ迫）	☐ 自然災害（地震、台風、豪雨、豪雪、疫病等）
☐ 供給メーカー工場の火災、設備故障等	☐ 経済状況の変化に伴う物価（労務費）上昇
☐ 紛争や関税制度等の変更による資機材の価格高騰・輸入遅延	
☐ その他（具体的な内容）	

注：上記1の記載は必須ではなく、原因が特定されている事象がある場合に記載してください。
必要に応じて記載内容を書き換えてください。

教えてください！我が社の働きやすい職場づくり

建設
雇用改善
コーナー



職場の働き方改革、どんなことやってますか？

太田建設(株)
総務部
高江洲さん



「おきなわSDGSパートナー」として、地域とともに持続可能な未来を築く活動に取り組んでいます。また、女性の活躍推進を図るため「女性の活躍推進企業データベース」に情報記載を行っています。その一環として「えるぼし認定」の取得に向けて申請中です。

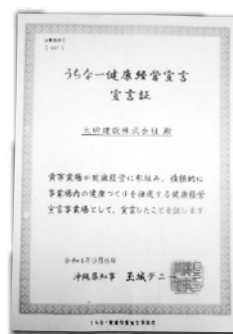
このほか、工事施工現場において赤土流出対策や再生可能資材の活用を通じ、環境・社会・経済の各側面に配慮したバランスのとれた活動を展開しています。また、定期的に地域のボランティア清掃活動（海岸清掃等）を実施し、環境美化や地域の安心・安全なまちづくりに取り組んでいます。



社員の健康管理や福利厚生、何をやってますか？

健康経営に取り組むため令和4年9月「うちなー健康経営」を宣言しました。残業時間・休日出勤の抑制や削減、年次有給休暇に加え「夏期休暇」を付与し、働きやすいワークライフバランスの実現に取り組んでいます。

また、全社員が年1回の健康診断を受診しています。可能な限り保健指導も受けさせて健康面を気軽に相談できるよう体制を整えています。さらに、女性特有のがん早期発見を図るために講習会を開催。女性社員全員が参加しました。



総務部
高江洲さん



社員向けの支援や社会貢献など、どんなことをやってますか？

おきなわマラソンのボランティア活動に従事しており、大会への貢献が認められて感謝状を拝受しました。

次世代を担う人材の育成を目的に、社員の資格取得に係る費用を負担しています。また、小中高校生のインターンシップや職場体験を受け入れ、仕事のやりがいや関わりを学ぶ機会を提供しています。



取締役営業部長
相野谷 真吾さん



ありがとうございました！

今後とも、働きやすい職場づくりの取り組み紹介を通して、建設業の魅力を幅広く発信していきます。皆さんからの情報提供お待ちしております！

先輩方が働く姿勢を見て自分の成長へ

入社当初は何も分からないのは当然です。まずは自分が出来ることを積極的にやりましょう。先輩方が働く姿勢には、言葉では伝えきれない大切なものがあります。ぜひ、見て感じて、自分の中に取り込み成長へとつなげられるよう頑張りましょう。若手の力で、建設業の未来をともに築いていきましょう。

担当した現場



現場「令和5年度与那原地区法面工事」では、知識や技術を身につけるため、先輩方とコミュニケーションを図るように努力しました



沖縄工業高等学校出身

新里 能陵さん(19歳)
(先嶋建設株式会社 土木部)

しんざと よしつか/那覇市出身/2024
年3月沖縄工業高等学校卒業/2024年
4月先嶋建設株式会社入社

入職のきっかけ: 高校在学中に橋、道路
工事について特に興味を持ちました。現
場見学の際に見た社員同士の雰囲気かと
ても良く、自分もこの仕事に携わってみたい
と思いました。

将来の夢・目標: 1級土木施工管理を取得
し、先輩たちのように立派な現場代理
人、監理技術者になることです。

休日の過ごし方: 釣りやドライブでリフ
レッシュしています。

沖建協「見える化」イメージアップキャラクター 「あんぜんぼーや」を現場へつれてって!!

地域と共に、未来を築く



Okinawa General
Constructors
Association

あんぜんぼーや

私たちは、沖縄県建設業協会会員です。



一般社団法人

沖縄県建設業協会

Okinawa General Constructors Association



建設業界のイメージアップと沖縄県建設業協会会員の「見える化」を図るため、協会のイメージアップキャラクター「あんぜんぼーや」のシールを作成しました。(A4 サイズ、A3 サイズ)

協会会員が施工する建設現場の出入り口など人目に触れる機会の多い場所に貼って、協会会員であることを示すPR活動に使用してください。

追加で必要な場合は、所属支部窓口で配布します。

2025年7月の動き

日	曜	沖建協・建産連・土木技士会・青年部会等	その他会議・講習会等
2	水		・おきなわ建設フェスタ事務局「幹事会」(那覇市) ・沖縄県「沖縄県総合防災訓練全体会議」(那覇市、Web併用)
3	木	・沖建協「不当要求防止責任者講習(八重山地区)」 (八重山建設会館) ・沖建協「工業高校生現場見学会(南部工業・建築設備科)」 (沖縄市、北谷町)	
4	金	・沖建協青年部会「役員会」(建労センター)	・県産品奨励月間実行委員会「県産品優先使用の要請」(浦添市)
7	月	・沖建協「建設DXの基礎研修」～7/11(金)迄(建労センター)	
8	火	・沖建協「正副会長会議」(ナハテラス) ・沖建協「役員会」(ナハテラス) ・沖建協「建設委員会」(ナハテラス)	
9	水	・建産連「専務理事(事務局長)会議」(建労センター)	
10	木		・国交省「建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰式典」(東京都) ・沖縄こどもの未来県民会議「総会」(那覇市) ・沖縄気象災害防止協議会「定時総会・幹事会」(那覇市)
15	火		・土木学会西部支部沖縄会「運営委員会・総会」(那覇市)
16	水	・沖建協「工業高校生現場見学会(美来工科・土木工学科)」 (南風原町、他)	・九州土木技士会「通常総会」(福岡県)
17	木		・沖縄県建設業企業年金基金「代議員会」(浦添市)
22	火	・沖建協「工業高校生対象小型車両系建設機械運転特別教育」 ～7/23(水)迄(沖縄市)	・全国建産連「専門工事業員会」(東京都) ・那覇空港拡張整備促進連盟「総会」(那覇市)
23	水	・沖建協青年部会「事業委員会」(建労センター) ・沖建協女性部会「企画推進委員会」(建労センター)	
24	木		・全建「建設業社会貢献活動推進月間中央行事」(東京都) ・沖縄県「総合防災訓練ライフライン部会」(Web)
25	金		・全国建設青年会議「準備会」(愛知県) ・建設業福祉共済団「事業推進戦略会議」(東京都)
28	月		・全建「建設生産システム委員会」(東京都)
29	火	・沖建協「工業高校生対象小型車両系建設機械運転特別教育」 ～7/30(水)迄(沖縄市)	・九建協「土木委員会」(福岡県) ・沖縄県緑化推進委員会「定時総会」(那覇市)
30	水		・九建協「建築委員会」(福岡県)
31	木	・沖建協「工業高校生対象小型車両系建設機械運転特別教育」 ～8/1(金)迄(沖縄市)	・沖縄県生コンクリート品質管理監査会議(那覇市)

2025年8月の行事予定

日	曜	沖建協・建産連・土木技士会・青年部会等	その他会議・講習会等
1	金	・沖建協「地域別産学懇談会(那覇・南部・浦添)」 (建労センター) ・沖建協女性部会「夏のリコチャレ2025」 (総合事務局、那覇新港ふ頭地区)	
4	月	・沖建協「地域別産学懇談会(宮古)」(宮古建設会館)	・建設業振興基金「建設業経理事務士特別研修3級(一般向け)」～ 8/6(水)迄(浦添市)
5	火	・沖建協「工業高校生対象小型車両系建設機械運転特別教育」 ～8/6(水)迄(沖縄市) ・沖建協「地域別産学懇談会(八重山)」(八重山建設会館)	
7	木	・沖建協「工業高校生対象小型車両系建設機械運転特別教育」 ～8/8(金)迄(沖縄市) ・沖建協「工業高校生対象建設業経理事務士特別研修(4級)」 ～8/8(金)迄(建労センター)	・ニューレジリエンスフォーラム沖縄県大会(那覇市)

2025年8月の行事予定

日	曜	沖建協・建産連・土木技士会・青年部会等	その他会議・講習会等
12	火	・沖建協「工事統括責任者会議(本島地区)」 (ラグナガーデンホテル)	
13	水	・沖建協「地域別産学懇談会(中部)」(中部建設会館)	
14	木	・沖建協「工事統括責任者会議(宮古地区)」 (ホテルアトールエメラルド宮古島)	・暴力団追放沖縄県民会議「暴力団排除セミナー」(浦添市)
15	金	・沖建協「工事統括責任者会議(八重山地区)」 (アートホテル石垣島)	
18	月	・建退共「法定外労災補償制度並びに建退共制度事務取扱説明会」(宮古地区)」(ホテルアトールエメラルド宮古島)	・沖縄県優良県産品推奨事業「工業系製品部門最終審査会」 (那覇市)
19	火	・建退共「法定外労災補償制度並びに建退共制度事務取扱説明会」(八重山地区)」(アートホテル石垣島)	・九建協「労務対策委員会」(福岡県)
21	木	・沖建協「地域別産学懇談会(北部)」(北部建設会館)	
26	火	・沖建協「不当要求防止責任者講習会(宮古地区)」 (宮古建設会館)	・沖縄県雇用対策推進協議会「幹事会」(那覇市) ・沖縄県防衛協会「理事会・表彰式・意見交換会」(那覇市)
		・沖建協「工業高校生対象建設産業経理事務士特別研修(3級)」～8/28(木)迄(建労センター) ・建退共「法定外労災補償制度並びに建退共制度事務取扱説明会」(那覇・南部・中部地区)」(コンベンションセンター)	
28	木		・九建協「専務理事・事務局長会議」(大分県)

[8月号会員の異動]

代表者・所在地・組織等

ページ	支部名	会社名	変更事項	変更前	変更後
P17	那覇	(株)奥浜組	所属支部 郵便番号 所在地	那覇支部 〒900-0004 那覇市銘苅211 ユーカリ那覇201号	宮古支部 〒906-0013 宮古島市平良字下里648 奥浜組マンション1F
P19	那覇	(株)南成建設	代表者	屋宜 宣光	仲西 正也
P27	浦添・西原	沖電開発(株)	代表者	仲里 武思	屋宜 誠

退 会

ページ	支部名	会社名	代表者名
P51	八重山	(株)平田建設	平田 当範

※「2025会員名簿」修正済み

沖建協会報 2025年8月号(第663号)
令和7年8月1日発行
発行人 源河 忠雄

発行所 一般社団法人 沖縄県建設業協会
〒901-2131 沖縄県浦添市牧港5-6-8
TEL.098(876)-5211
FAX.098(870)-4565
編集 株式会社沖縄建設新聞

沖縄県内の公共工事動向（令和7年6月分）

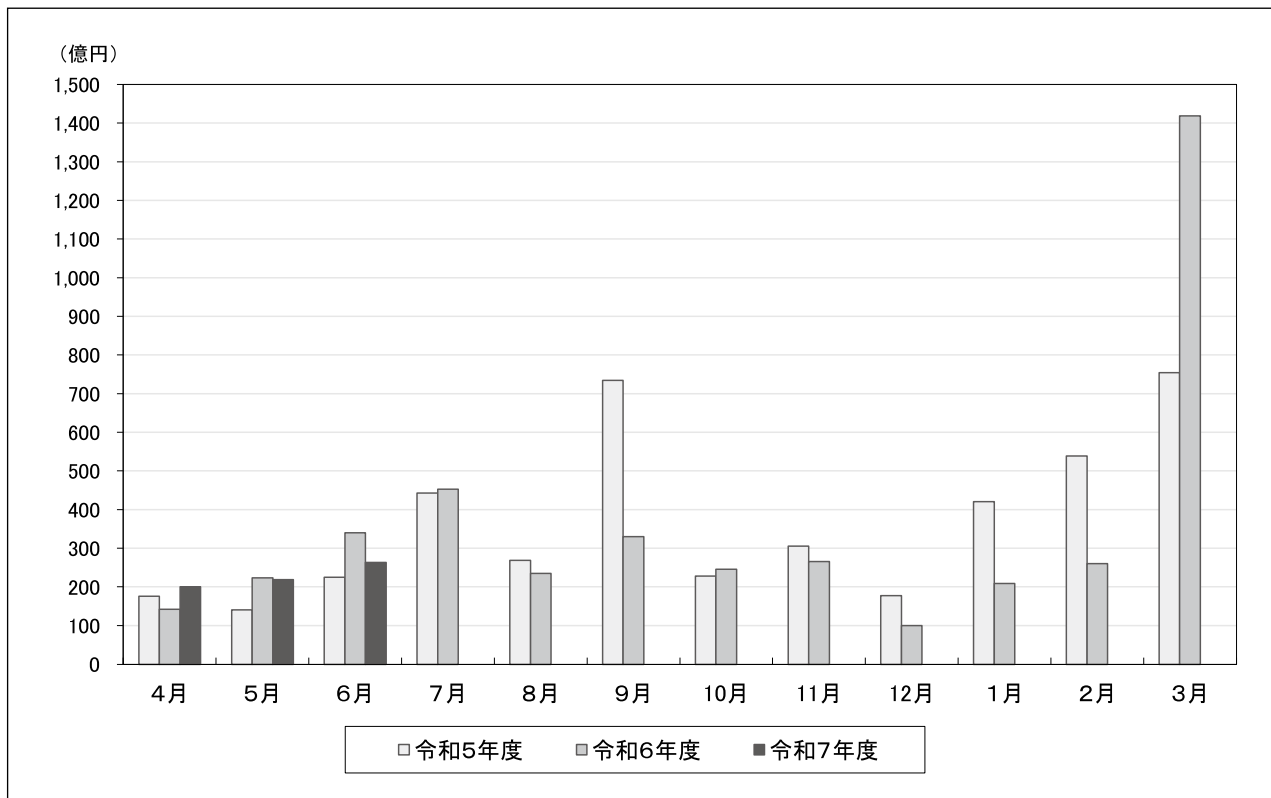
西日本建設業保証（株）沖縄支店

▼ 概況

（単位：件、百万円、％）

	当 月		増減率		累 計		増減率	
	件数	請負金額	件数	請負金額	件数	請負金額	件数	請負金額
国	39	7,603	21.9%	▲35.9%	105	14,187	16.7%	▲13.1%
独立行政法人等	0	0	—	—	8	1,228	▲11.1%	3.4%
県	66	6,049	▲5.7%	27.5%	192	22,676	▲2.0%	12.9%
市町村	140	11,340	17.6%	11.8%	285	24,761	16.3%	8.4%
その他	15	1,354	15.4%	▲78.5%	36	5,541	2.9%	▲46.2%
合 計	260	26,348	7.9%	▲22.7%	626	68,395	8.9%	▲3.3%
令和6年度	241	34,088	▲7.3%	51.0%	575	70,727	▲5.0%	30.1%
令和5年度	260	22,582	4.0%	▲55.0%	605	54,364	9.4%	▲32.5%
令和4年度	250	50,231	▲2.7%	132.5%	553	80,557	▲13.1%	3.3%
令和3年度	257	21,608	▲22.6%	▲27.9%	636	78,017	▲5.1%	7.8%

▼ 月別請負金額の推移



2025年10月
リニューアル!

NEW!

電子申請で業務を
もっとスムーズに!

建設現場労働者のための退職金制度

建退共

K E N T A I K Y O

電子化で、煩雑な申請や書類管理の
手間を大幅に軽減できます。

オンラインで
業務効率化!

工事関係書類の
電子化にも対応!

発注機関等への
提出作業が軽減!

詳しい情報はこちら ▶

建退共



<https://www.kentaikyo.taisyokukin.go.jp/>



建退共
建設業退職金共済制度

独立行政法人 勤労者退職金共済機構 建設業退職金共済事業本部
〒170-8055 東京都豊島区東池袋1-24-1 TEL.03-6731-2866

新しくなって、さらに安心・納得!

手厚い補償
保険金区分合計
最高**5,000万円**

**契約者
割戻金制度**
により
掛金負担が軽減

労働者と企業の
**リスクを
カバー**



社員と家族、会社を守るために。

**割戻金の支払いが
始まっています。**

建設共済保険

法定外労災補償制度

今すぐ、
ご加入を!

「建設共済保険」の他にも、次のような事業を行っています。

育英奨学事業

被災者(死亡および障害・傷病3級以上)の
子供に対して、要保育期間および小学校
から大学までの在学期間中、返済不要
の奨学金を継続して給付。

労働安全衛生推進事業

- ① 安全衛生用品の頒布
- ② 女性専用トイレ・更衣室導入費用の助成
- ③ 安全衛生推進者表彰 等

公益財団法人

建設業福祉共済団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門驛平タワー 11階

■ 取扱機関: (一社) 沖縄県建設業協会
〒901-2131 浦添市牧港5-6-8
Tel. 098-876-5211 Fax. 098-870-4565



正確な掛金の試算や資料請求はこちらまで



0120-913-931

受付時間 午前 9:00 ~ 午後 5:00 (土日祝を除く)

詳しくは HP をご覧ください!

建設共済保険

検索

<https://www.kyousaidan.or.jp/>

沖縄県建設業協会青年部会



賞金 **5** 万円
最優秀賞

第17回 島の魅力

フォトコンテスト

作品応募期間

令和7年6月2日(月)～8月15日(金)

【表彰式】

令和7年11月17日(月)

県庁1階ロビー(予定) 当日消印有効

【テーマ】

「人」の部

建設業で働く人々を題材

にした作品【撮影場所：沖縄県内】

土木・建築・設備・その他の工事現場で
「いきいきした姿」「人間味あふれる姿」
「真摯な姿」働く人々をとらえた作品

★キーワード…技能・技術・連携・安全・
裏方・親睦・仲間・家族・笑顔・地域、等

「造」の部

建設業が造りだす構築物を題材

にした作品【撮影場所：沖縄県内】

沖縄県内で施工途中、又は既に竣工した
構築物等「美しい様子」「存在感のある
様子」「象徴的な様子」で街や人々の
よりどころとなっている

★キーワード…技術・工法・規模・雄大・
デザイン・自然・街並・都市・調和、等

【賞】

各部門

最優秀賞 1点(賞状・賞金 5万円)

優秀賞 2点(賞状・賞金 2万円)

学生賞 1点(賞状・賞金 1万円)

入選 10点(賞状・賞金 5千円)

みんなの公共(建築・土木)賞

・建築賞(この部) 2点(賞状・賞金 1万円)

・土木賞 1点(賞状・賞金 1万円)

沖縄建設新聞社長賞 1点(賞状・賞金 1万円)

現場で働く美ら小町賞 1点(賞状・賞金 1万円)

(人の部より)

※入賞は各部門1人1点とします。

お問い合わせ先・応募先

沖縄県建設業協会青年部会
第17回 フォトコンテスト

— 島の魅力 — 係

〒901-2131 沖縄県浦添市牧港5-6-8

TEL: 098-876-5211

FAX: 098-870-4565

<http://www.okikenkyo.or.jp/>

主催：沖縄県建設業協会青年部会

後援：内閣府沖縄総合事務局・沖縄労働局・沖縄県・沖縄県市長会・沖縄県町村会・NHK沖縄放送局

協賛：エフエム沖縄・沖縄銀行・沖縄海邦銀行・沖縄建設新聞・沖縄県土木施工管理技士会・沖縄タイムス社・沖縄テレビ放送・カメラのモリヤマ・(一社)公共建築協会・ラジオ沖縄・琉球朝日放送・琉球銀行・琉球新報社・琉球放送(五十音順)

青年部会 島の魅力





墜落・転落災害 撲滅キャンペーン

2025年8月1日～9月10日



確認

低所での作業床の設置確認



手すりの確認
よし!

点検

足場使用前時、組立て後等の点検



適正
使用

フルハーネス型安全帯の適正使用

藤咲 碧羽

コードNo.760501
建設業労働災害防止協会

 建設業労働災害防止協会